



平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月7日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績(平成28年5月1日~平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	2,331	16.9	113	70.0	86	29.5	54	33.9
28年4月期第1四半期	1,994	19.4	67	30.5	66	29.7	40	32.2

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 53百万円(45.5%) 28年4月期第1四半期 36百万円(18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	9.18	8.81
28年4月期第1四半期	6.85	6.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第1四半期	3,342	1,770	52.9
28年4月期	3,412	1,751	51.2

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 1,767百万円 28年4月期 1,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	—	—	5.60	5.60
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日~平成29年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,779	15.8	263	49.0	250	45.1	164	51.3	27.51
通期	9,705	15.6	532	20.6	520	24.1	349	31.0	58.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期1Q	5,976,000株	28年4月期	5,976,000株
29年4月期1Q	405株	28年4月期	405株
29年4月期1Q	5,975,595株	28年4月期1Q	5,974,454株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景気、雇用・所得環境は総じて改善傾向にありますが、為替や株価の変動懸念などもあり、国内景気は依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。美容業界におきましても、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン経営において厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループでは「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域を拡大することで更なる成長を図ることを目的として、各種取組を継続的に実施しました。

その結果、登録会員数は287,265口座（前年同期比15.0%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は85,776口座（前年同期比6.9%増）となりましたが、過去1年間で6回以上購入したロイヤルユーザ数は前年同期比24.0%増の16,633口座と大幅に増加しており、リピート顧客の増加が顕著となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,331,310千円（前年同期比16.9%増）、売上総利益は759,949千円（前年同期比17.1%増）となりました。

また、平成28年5月に開催された美容業界最大のイベント「Beauty World Japan2016」への出展、通販カタログ誌3種の発刊（平成28年6月）、福岡支店ショールームのリニューアル移転など積極的なプロモーション施策を実施しながらも、営業利益は113,950千円（前年同期比70.0%増）と大幅に伸長しました。

しかしながら、平成28年7月26日付で当社株式の上場市場をマザーズ市場から第一部市場へ変更したことによる市場変更費用16,770千円、為替予約に対する評価損10,378千円を計上したこともあり、経常利益は86,481千円（前年同期比29.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54,831千円（前年同期比33.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の6割超を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しており、モバイル経由全体（スマホECサイト+スマホアプリ+携帯ECサイト）の売上高は前年同期比42.5%増と大幅に伸長いたしました。

当社はリピート商材の拡充により「フロー&ストック型収益構造」への転換を推し進めており、当第1四半期連結累計期間におきましては、特に理美容化粧品やネイル・まつ毛材料の売上が好調に伸長したことから、化粧品・材料の売上高は前年同期に比べ21.6%増加と物販事業売上高の前年同期比（13.3%増）を上回りました。

なお、前期において電気用品安全法の再試験のため販売停止をしていた一部のPB機器について販売を再開したこともあり、PB機器の売上高も前年同期比15.7%増と伸長いたしました。

また、ここ数年来の為替レートにおける円安トレンドによって、当社の物販事業の売上総利益率は長らく低下傾向にありましたが、前第4四半期より円高が進んだこともあり、前年同期は35.0%だった売上総利益率は37.1%に改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,776,253千円（前年同期比13.3%増）、セグメント利益は127,736千円（前年同期比48.6%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

引き続きデザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めたことから、当事業の売上高は486,114千円（前年同期比37.8%増）、セグメント利益は19,851千円（前年同期比19.0%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、集客支援サービス（前年同期比25.6%減）、講習会・アカデミーサービス（前年同期比36.1%減）などが伸び悩んだことから、当事業の売上高は68,941千円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は16,640千円（前年同期比9.0%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、2,967,660千円となりました。これは、主に商品の増加9,432千円及び仕掛品の増加34,785千円があったものの、現金及び預金の減少53,627千円及び受取手形及び売掛金の減少29,634千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて15.8%増加し、374,641千円となりました。これは、主に有形固定資産の増加6,368千円及び無形固定資産の増加53,060千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、1,345,235千円となりました。これは、主に賞与引当金の増加38,535千円及びその他流動負債の増加18,236千円があったものの、買掛金の減少69,857千円、一年以内返済予定の長期借入金の減少11,248千円及び未払法人税等の減少41,542千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、226,709千円となりました。これは、主に長期借入金の減少23,047千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、1,770,357千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少33,463千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加54,831千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月9日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法は従来と同じであります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,060	1,047,433
受取手形及び売掛金	689,499	659,864
商品	983,771	993,204
仕掛品	22,931	57,717
その他	302,416	220,234
貸倒引当金	△10,978	△10,793
流動資産合計	3,088,700	2,967,660
固定資産		
有形固定資産	79,656	86,024
無形固定資産		
ソフトウェア	41,817	41,940
ソフトウェア仮勘定	-	52,937
その他	116	116
無形固定資産合計	41,933	94,994
投資その他の資産	201,887	193,622
固定資産合計	323,478	374,641
資産合計	3,412,179	3,342,302
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,913	562,056
短期借入金	7,500	3,750
1年内返済予定の長期借入金	112,136	100,888
未払法人税等	84,784	43,242
賞与引当金	27,920	66,455
製品保証引当金	15,153	15,504
受注損失引当金	1,154	991
株主優待引当金	3,046	2,613
資産除去債務	576	580
その他	531,122	549,154
流動負債合計	1,415,307	1,345,235
固定負債		
長期借入金	139,314	116,267
ポイント引当金	44,194	45,797
資産除去債務	23,641	23,682
その他	38,483	40,962
固定負債合計	245,633	226,709
負債合計	1,660,940	1,571,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	221,012	220,512
利益剰余金	1,255,749	1,277,116
自己株式	△202	△202
株主資本合計	1,746,303	1,767,171
新株予約権	236	236

非支配株主持分	4,698	2,950
純資産合計	1,751,238	1,770,357
負債純資産合計	3,412,179	3,342,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	1,994,094	2,331,310
売上原価	1,345,220	1,571,361
売上総利益	648,874	759,949
販売費及び一般管理費	581,838	645,999
営業利益	67,036	113,950
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	5
仕入割引	-	113
受取手数料	1,050	356
その他	984	2
営業外収益合計	2,035	478
営業外費用		
支払利息	300	252
為替差損	-	10,378
商品廃棄損	1,440	-
市場変更費用	-	16,770
その他	557	545
営業外費用合計	2,298	27,947
経常利益	66,774	86,481
特別利益		
固定資産売却益	82	-
特別利益合計	82	-
税金等調整前四半期純利益	66,856	86,481
法人税、住民税及び事業税	36,419	41,680
法人税等調整額	△6,048	△8,281
法人税等合計	30,370	33,398
四半期純利益	36,485	53,083
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,448	△1,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,934	54,831

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	36,485	53,083
四半期包括利益	36,485	53,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,934	54,831
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,448	△1,748

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,567,566	352,744	73,783	1,994,094	—	1,994,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,273	6,651	3,109	40,034	△40,034	—
計	1,597,839	359,396	76,893	2,034,129	△40,034	1,994,094
セグメント利益	85,949	16,679	18,289	120,917	△53,881	67,036

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,881千円には、セグメント間取引消去5,184千円、未実現利益の調整額△1,186千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△57,878千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,776,253	486,114	68,941	2,331,310	—	2,331,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,778	9,737	9,666	65,182	△65,182	—
計	1,822,032	495,852	78,608	2,396,493	△65,182	2,331,310
セグメント利益	127,736	19,851	16,640	164,227	△50,276	113,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△50,276千円には、セグメント間取引消去△2,918千円、未実現利益の調整額8,757千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,116千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。